

夢大使紹介⑮



高 山 ひろ美 氏

三菱商事株式会社
グローバル総括部
中南米担当

南三陸町との関わり

「うみべの広場」に並んでいる2体のモアイ。向かって左にある帽子を被った目が入っているモアイは2011年の震災後、チリの経済界が義援金を集め、イースター島の石で制作し、南三陸町に寄贈してくれたものです。

私が勤務する会社はチリとの関係が深いことから、震災後にチリ経済界からのご相談を受け、モアイが東京湾に到着してから南三陸町にお届けするまでの輸送や展示のサポートをさせていただくこととなりました。私はモアイプロジェクトのメンバーとして両国関係者の窓口を務めました。これが私と南三陸町とのご縁の始まりでした。

大使としての活動内容と南三陸町への想い

今年の5月、大阪・関西万博におけるチリ・ナショナルデーの式典に参加するためにチリから多数のビジネスパーソンやアーティストが来日されました。中にはイースター島の出身者もいらっしゃいました。お話する機会があった方には、モアイが南三陸町のシンボルとして親しまれ、大切にされているという話をさせていただきました。

モアイプロジェクトに参加できたことは私の人生にとっても宝物です。これからも感謝の気持ちと共に微力ではございますが、日本とチリ、南三陸町とイースター島の友好について機会あるごとに伝えていきたいと思います。

夢大使紹介⑯



佐 藤 博 之 氏

アマタホールディングス(株)
シニアフェロー

南三陸町との関わり

南三陸町の皆さまとのつながりは、あの震災後には考えられませんが、振り返って思えば、何か必然めいたご縁を感じています。私たちアマタグループが思い描いてきた自然と共生する持続可能な暮らしは、すでに南三陸の皆さまの心の中にあったからです。ですから、私が町の皆さんに想いを伝えたとき、「そうそう、そういう町の姿を思い描いていたんだよ」という言葉が返ってきたのです。まさに心が共鳴したのを鮮明に覚えています。

そのご縁が一つの形になったのが「南三陸BIO」です。皆さまが丁寧に分別した生ごみが、そこでバイオガスエネルギーと肥料になって町に生かされています。その南三陸BIOは皆さまのおかげで10周年を迎えることができました。ありがとうございます。次の10年も皆さまとともに歩んでまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

大使としての活動内容

南三陸の取り組みは、コンパクトな地産地消型の地域循環モデルとしているんな国や場所で紹介しています。海外からも研修視察に訪れる方々がお見えです。これからも積極的な紹介に努めてまいります。

南三陸町への想い

森のFSC、海のASC、バイオガス施設「南三陸BIO」、ひと森里海のつながり。いずれも大切な宝ものです。町の皆さまとのご縁に心から感謝しています。

夢大使紹介⑰



亀 山 耕 平 氏

タートルパートナーズ代表

南三陸さんさん夢大使に任命いただきましたタートルパートナーズ株式会社の亀山耕平と申します。

元体操選手で、世界一、東京五輪日本代表を経験させていただきました。

南三陸町志津川は、私の母方の祖父母の家、いわゆるおじいちゃんおばあちゃんちで、私が小さい頃から盆正月は必ず通っていた思い出の土地です。

現在もイベント事だけでなく、お墓参りには毎年必ず伺っております。

現役を引退し「大好きな南三陸町に何か貢献したい!」と思っていたところ、ご縁もあって南三陸さんさん夢大使に任命いただいた次第です。

私が南三陸町に貢献できることは【全国に南三陸町をPRすること】だと考えています。

大好きなこの町の魅力を、精一杯伝えてまいります。

私は現在、宮城県を拠点にしながら、全国各地で活動させていただいておりますが、更なる貢献ができるよう精進いたします。

今後とも何卒よろしくお願い致します。

南三陸町との関わり

2005年、合併により南三陸町が誕生した際、町はよりよいまちづくりをめざし、町民の皆さまが改めて地域を学ぶ機会の一環として「南三陸町ブランド塾」を開催。弊社代表が初代塾長を務めさせていただいたことにより、私は何度も訪問の機会をいただきました。町の皆さまは、いつもとびきりの笑顔であたたかくお迎えいただき、南三陸町として頑張っていくのだという結束力とパワーをひしひしと感じつつ、とても居心地の良い思いをさせていただきました。

南三陸町への想い

本年度合併20周年をお迎えになられましたこと、誠におめでとうございます。

この間いろいろなことがありましたが、東日本大震災により南三陸町は未曾有の事態に直面されました。どなたも心身ともに極限の状態でありながら前を向き、「よいまちをつくる」を合い言葉に一致団結してさまざまな困難に向かい合い、少しずつ、ひとつずつ乗り越えてこられたことに、深い敬意を表します。

10月に開催された「南三陸町合併20周年記念式典」では、町内の児童・生徒の皆さまがさまざまな場面でお手伝いされ、演舞等を披露されました。どの方も目がキラキラと輝き、一所懸命に行動される様子を拝見し、南三陸町で生まれ、育っている若い方々は町民の皆さまの町に対する想いをしっかり受け継いでおられることを改めて実感いたしました。

私は、観光を基軸とした地域づくり・まちづくりをお手伝いさせていただいています。これまで、南三陸町の皆さまからたくさんの元気をいただきました。これからも元気な人を見だし、元気な人をつなぎ、元気な地域であり続けていただきたいと思います。微力ではございますが、私は南三陸町の皆さまの元気を多くの地域の皆さまへお伝えしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。